

令和6年5月7日

地域 JRAT 代表者 各位
地域 JRAT 事務局代表者 各位

一般社団法人
日本災害リハビリテーション協会
代表 栗原 正紀
(公印省略)

令和6年能登半島地震災害に対する JRAT 活動終結の報告

謹啓

新緑の候、貴職におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は本協会の活動にご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

この度の令和6年能登半島の震災につきましては、1月1日の発災から現在に至るまで、日本災害リハビリテーション協会（JRAT）として延べ5,500名以上の方々に（東京）中央対策本部および石川 JRAT 対策本部での支援活動をいただいたところでございます。

私ども JRAT は DMAT、JMAT、DHEAT 等の災害救助・救護に関わる支援団体とともに強固な連携の下で支援活動を行うことができ、被災された方々の自助・互助努力もあって、避難所での災害関連死は皆無に近い状況で推移しました。また、奥能登方面の医療施設等につきましては、発災前までには至らないまでも、徐々に復旧しつつあります。しかし、避難所生活も未だ続く中、また仮設住宅への移行などその後の避難生活にも多くの不安要因は残っている状況ではありますが、令和6年4月30日をもちまして JRAT の活動を終結する運びとなりましたことをここにご報告いたします。

石川県内での JRAT 本部は平時体制に戻り、今後、能登半島で避難所支援に対するニーズが増えた際には、石川県内のリハビリテーション専門職等による地域リハビリテーション支援等で対応することとなりました。

これに伴い、（東京）中央対策本部は、全国からの地域 JRAT チームの派遣に関して、現地ニーズとのマッチングや派遣隊の微細な希望の調整等を担ってまいりましたが、4月30日に閉鎖とさせていただき、以後は平時事務局にて残務作業を行ってまいります。

貴職のこれまでのご協力に深謝いたします。また、引き続きご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

謹白